

# 日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

## 2024年度（2025年3月期）第3四半期

### 1. 決算概要

- 1-1. 2024年度 第3四半期決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

### 2. 2024年度業績予想

- 2-1. 2024年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

### 3. 主な指標

- 3-1. 経営目標
- 3-2. BS項目
- 3-3. CF項目

# 1. 決算概要

## 1-1. 2024年度 第3四半期 決算

単位：百万円

	2024年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比増減	前年同期比
売上高	404,246	390,542	+13,704	103.5%
海外売上高比率	25.9%	20.8%	—	—
営業利益	16,946	19,457	△2,510	87.1%
売上高営業利益率	4.2%	5.0%	—	—
経常利益	16,298	18,711	△2,413	87.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,176	13,834	△1,657	88.0%

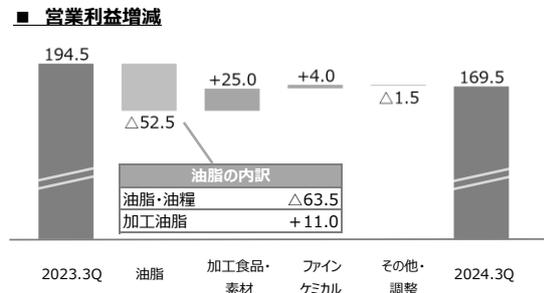
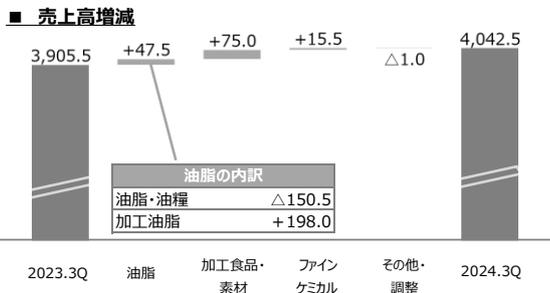
## 1-2. セグメント別実績

単位：百万円

	2024年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比増減	前年同期比
売上高	404,246	390,542	+13,704	103.5%
油脂	327,937	323,155	+4,781	101.5%
油脂・油糧	230,061	245,113	△15,052	93.9%
加工油脂	97,876	78,042	+19,833	125.4%
加工食品・素材	58,763	51,252	+7,511	114.7%
ファインケミカル	15,730	14,197	+1,533	110.8%
その他・調整	1,814	1,936	△121	93.7%
営業利益	16,946	19,457	△2,510	87.1%
油脂	12,399	17,675	△5,275	70.2%
油脂・油糧	7,204	13,575	△6,370	53.1%
加工油脂	5,195	4,099	+1,095	126.7%
加工食品・素材	3,510	1,002	+2,507	350.0%
ファインケミカル	1,441	1,045	+396	138.0%
その他・調整	△405	△265	△139	—

## 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円



### <売上高増減要因>

- 油脂
- 国内油脂における汎用品、ミールの販売単価低下（↓）
  - 業務用、加工用、ミールの販売数量増加（↑）
  - ホームユースの販売数量減少（↓）
  - 海外加工油脂の販売数量増加および販売単価上昇（↑）
  - 海外加工油脂における為替換算の影響（↑）
- 加工食品・素材
- チョコレートの販売単価上昇（↑）
- ファインケミカル
- 化粧品原料の販売数量増加（↑）

### <営業利益増減要因>

- 油脂
- オリーブオイルの原価上昇（↓）
  - 国内油脂の粗利単価低下、物流費の増加（↓）
  - 国内加工油脂の販売数量増加および粗利単価向上（↑）
  - 海外加工油脂の販売数量増加および粗利単価向上（↑）
  - パーム油取引の時価評価損益の影響（↑）
- 加工食品・素材
- チョコレートの販売単価上昇による粗利単価向上（↑）
  - MCTの適正価格での販売（↑）
- ファインケミカル
- 化粧品原料の販売数量増加（↑）

1-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円  
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	141,700	△9,300	△6,247	・業務用、加工用ならびにミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、油脂およびミールの販売単価低下やホームユースの販売数量減少により減収 ・汎用品の粗利単価低下およびオリーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	88,166	△6,307		
ホームユース	53,534	△2,993		
ミール	63,583	△6,933		
子会社	61,242	+1,502	△152	
連結調整 他	△36,466	△319	+28	
油脂・油種 計	230,061	△15,052	△6,370	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
22%	+2,611

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.0	業務用・加工用（+5.5）、ホームユース（△2.5）
販売単価要因	△96.5	業務用・加工用（△92.0）、ホームユース（△4.5）
コスト要因	+42.5	
大豆	+22.5	C&F（+134.5）、為替（△58.0）、ミール販売（△54.0）
菜種	+38.0	C&F（+116.5）、為替（△46.5）、ミール販売（△32.0）
その他商品・製造費	△18.0	オリーブオイルコスト上昇等
販管費・その他	△11.5	
合計	△62.5	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円  
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
海外加工油脂	106,024	+23,578	+946	・販売数量増加、販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・販売数量増加、粗利単価向上ならびに為替換算の影響に加え、パーム油取引の時価評価損益（当期+3.5億円、前期+2.0億円）の影響もあり増益
欧州	45,715	+10,126		
アジア	54,027	+12,985		
その他地域	6,281	+466		
国内加工油脂	11,883	+739	+169	・販売数量増加および粗利単価向上により増収増益
連結調整 他	△20,032	△4,484	△20	
加工油脂 計	97,876	+19,833	+1,095	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+8%
欧州	+10%
アジア	+8%
その他地域	△10%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
38%	+0%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.0	スペシャルティファット（+1.5）、その他（+1.5）
販売単価要因	+78.0	スペシャルティファット（+17.5）、その他（+60.5）
コスト要因	△75.0	
原料代	△70.5	
製造費 他	△4.5	
販管費・その他	+2.0	
パーム油取引時価評価	+1.5	当期+3.5億円、前年同期+2.0億円
合計	+9.5	

1-4. セグメント情報詳細

加工食品・素材

単位：百万円  
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	34,894	+7,662	+1,720	・原料コスト上昇に伴う販売価格改定等により増収増益
調味料	3,701	△6	+106	・粗利単価向上により増益
機能素材・食品	6,885	△191	+616	・MCTの販売単価低下により減収。適正価格での販売による粗利単価向上により増益
MCT	5,284	△267		
大豆素材・食品	16,753	+353	+54	
連結調整 他	△3,471	△307	+10	
加工食品・素材 計	58,763	+7,511	+2,507	

ファインケミカル

単位：百万円  
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	13,363	+1,874	+322	・化粧品原料の販売数量増加により増収増益
環境・衛生	4,833	△89	+72	
連結調整 他	△2,466	△252	+1	
ファインケミカル 計	15,730	+1,533	+396	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
8,904	+1,790

※化粧品原料の売上高は  
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度第3四半期	143.33	155.32	31.05	19.98	0.0094
2024年度第3四半期	152.64	164.89	33.74	21.16	0.0096

## 2. 2024年度業績予想

### 2-1. 2024年度業績予想

単位：百万円

	2024年度 予想	2023年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2024年度11月開示
売上高	535,000	513,541	+21,458	104.2%	535,000
営業利益	21,000	20,840	+159	100.8%	21,000
経常利益	20,000	20,033	△33	99.8%	20,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,500	15,148	△648	95.7%	14,500

### 2-2. セグメント別予想

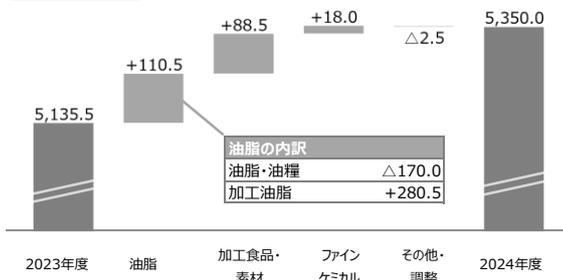
単位：百万円

	2024年度 予想	2023年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2024年度11月開示
売上高	535,000	513,541	+21,458	104.2%	535,000
油脂	433,000	421,973	+11,026	102.6%	436,500
油脂・油糧	301,000	317,995	△16,995	94.7%	306,500
加工油脂	132,000	103,978	+28,021	126.9%	130,000
加工食品・素材	79,000	70,129	+8,870	112.6%	75,000
ファインケミカル	20,700	18,884	+1,815	109.6%	21,000
その他・調整	2,300	2,553	△253	90.1%	2,500
営業利益	21,000	20,840	+159	100.8%	21,000
油脂	16,500	18,981	△2,481	86.9%	17,700
油脂・油糧	10,400	14,478	△4,078	71.8%	10,900
加工油脂	6,100	4,503	+1,596	135.4%	6,800
加工食品・素材	3,500	990	+2,509	353.3%	2,200
ファインケミカル	1,600	1,208	+391	132.4%	1,600
その他・調整	△600	△340	△259	-	△500

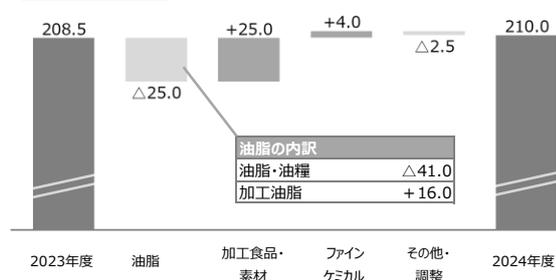
### 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

#### ■ 売上高増減



#### ■ 営業利益増減



#### <売上高増減要因>

##### ○油脂

- ・ 国内油脂における汎用品の販売単価低下（↓）
- ・ ミール相場下落に伴うミールの販売単価低下（↓）
- ・ 業務用、加工用、ミールの販売数量増加（↑）
- ・ 海外加工油脂の販売単価上昇および販売数量増加（↑）

##### ○加工食品・素材

- ・ チョコレートの販売単価上昇（↑）

##### ○ファインケミカル

- ・ 化粧品原料等の販売数量増加（↑）

#### <営業利益増減要因>

##### ○油脂

- ・ オリーブオイルの原価上昇（↓）
- ・ 国内油脂の粗利単価低下、物流費の増加（↓）
- ・ 海外加工油脂の販売数量増加（↑）
- ・ パーム油取引の時価評価損益の影響（↑）

##### ○加工食品・素材

- ・ チョコレートの粗利単価向上（↑）
- ・ MCTの適正価格での販売（↑）

##### ○ファインケミカル

- ・ 化粧品原料の販売数量増加、適正価格での販売（↑）

2-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円  
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
国内油脂	187,422	△5,354	△3,949	・業務用、加工用ならびにミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、油脂およびミールの販売単価低下により減収 ・汎用品の粗利単価低下およびオリーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	118,510	△3,433		
ホームコース	68,911	△1,921		
ミール	83,474	△11,228		
子会社	79,616	+2,059	△203	
連結調整 他	△49,513	△2,471	+74	
油脂・油種 計	301,000	△16,995	△4,078	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+3,799

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+5.0	業務用・加工用（+6.0）、ホームコース（△1.0）
販売単価要因	△55.5	業務用・加工用（△63.0）、ホームコース（+7.5）
コスト要因	+25.5	
大豆	+17.0	C&F（+179.0）、為替（△67.5）、ミール販売（△94.5）
菜種	+30.0	C&F（+137.5）、為替（△53.5）、ミール販売（△54.0）
その他商品・製造費	△21.5	オリーブオイルの原価上昇等
販管費・その他	△14.5	
合計	△39.5	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円  
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
海外加工油脂	140,720	+31,691	+1,541	・販売数量増加、販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・販売数量増加に加え、パーム油取引の時価評価損益（当期+1.5億円、前期△8.0億円）の影響により増益
欧州	60,785	+14,456		
アジア	71,682	+16,452		
その他地域	8,251	+780		
国内加工油脂	16,052	+1,284	+53	
連結調整 他	△24,773	△4,953	+1	
加工油脂 計	132,000	+28,021	+1,596	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+6%
欧州	+13%
アジア	+3%
その他地域	△8%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
37%	△3%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.5	スペシャルティファット（△5.0）、その他（+8.5）
販売単価要因	+131.0	スペシャルティファット（+64.5）、その他（+66.5）
コスト要因	△131.0	
原料代	△122.0	
製造費 他	△9.0	
販管費・その他	+3.5	
パーム油取引時価評価	+9.5	当期+1.5億円、前期△8.0億円
合計	+16.5	

## 2-4. セグメント情報詳細

### 加工食品・素材

単位：百万円  
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	47,697	+9,967	+1,614	・販売単価の上昇により増収増益
調味料	4,809	△41	+103	・粗利単価向上により増益
機能素材・食品	9,039	△132	+628	・MCTの販売単価低下により減収。適正価格での販売による粗利単価向上により増益
MCT	6,917	△237		
大豆素材・食品	22,131	△483	+161	・醸造用ミールの販売数量減少により減収。粗利単価向上により増益
連結調整 他	△4,678	△440	+0	
加工食品・素材 計	79,000	+8,870	+2,509	

### ファインケミカル

単位：百万円  
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	17,542	+2,058	+353	・化粧品原料の販売数量増加および適正価格での販売により増収増益
環境・衛生	6,294	△101	+55	
連結調整 他	△3,136	△141	△17	
ファインケミカル 計	20,700	+1,815	+391	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
11,953	+2,142

※化粧品原料の売上高は  
ファインケミカル製品売上高の内数

### 主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度	144.59	156.75	31.15	20.13	0.0094
2024年度	152.93	164.72	33.82	21.18	0.0096

### 3. 主な指標

#### 3-1. 経営目標

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
売上高	百万円	556,565	513,541	535,000
営業利益	百万円	16,186	20,840	21,000
ROE	%	7.0%	8.8%	8%以上
ROIC	%	4.5%	5.1%	5%以上

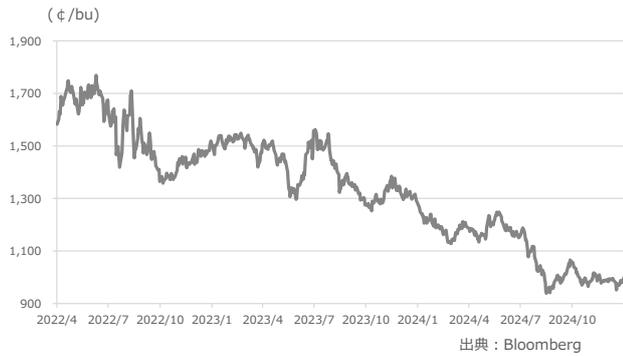
#### 3-2. BS項目

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
総資産	百万円	374,453	393,382	400,000
運転資本	百万円	154,547	151,758	153,000
自己資本	百万円	162,559	182,622	188,000
有利子負債	百万円	105,814	96,946	95,000
投下資本	百万円	268,374	279,568	283,000
自己資本比率	%	43.4%	46.4%	47.0%
ネットD/Eレシオ	倍	0.57	0.42	0.41

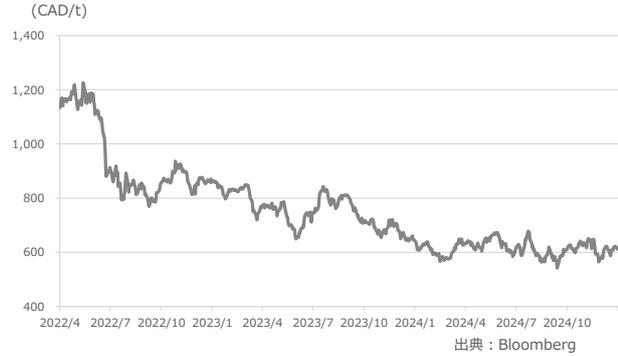
#### 3-3. CF項目

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	398	36,715	23,000
投資キャッシュフロー	百万円	△ 6,143	△ 16,083	△ 16,000
財務キャッシュフロー	百万円	6,342	△ 14,586	△ 8,000

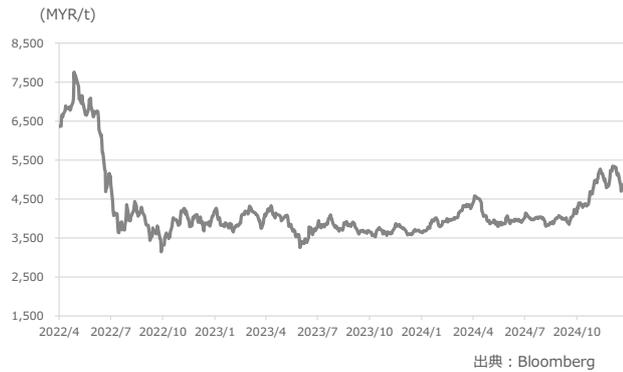
■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



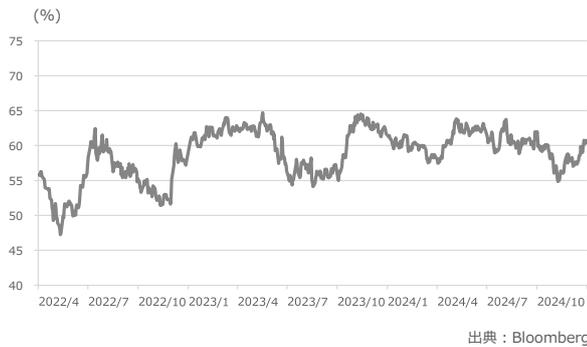
■ パーム原油相場



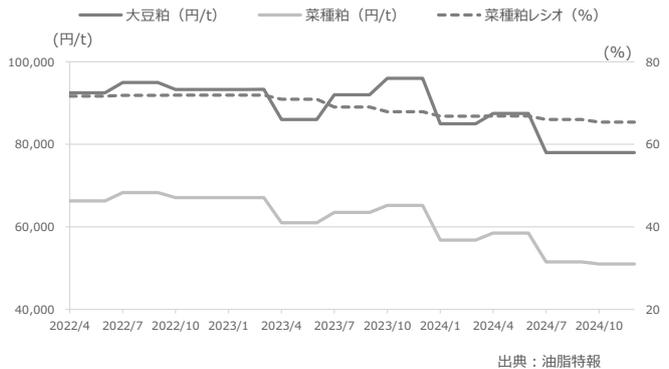
■ 為替相場 (円/ドル)



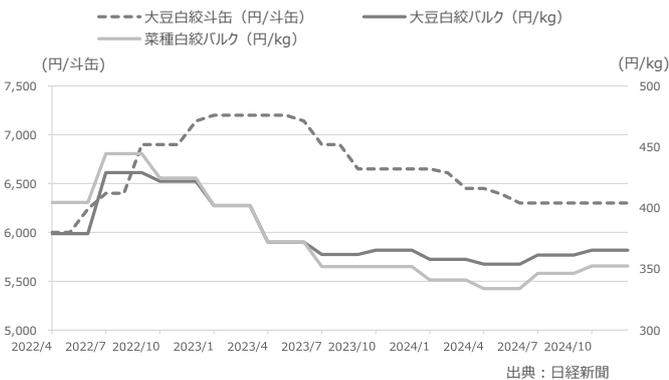
■ ミールバリュー推移



■ ミール業界平均価格

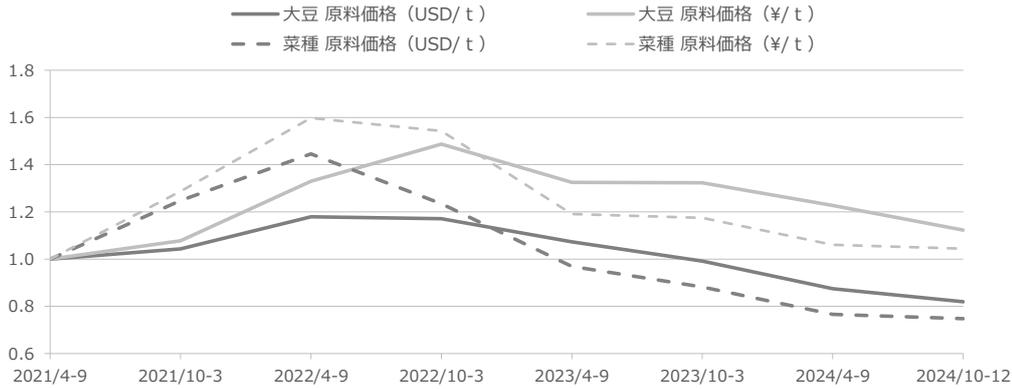


■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

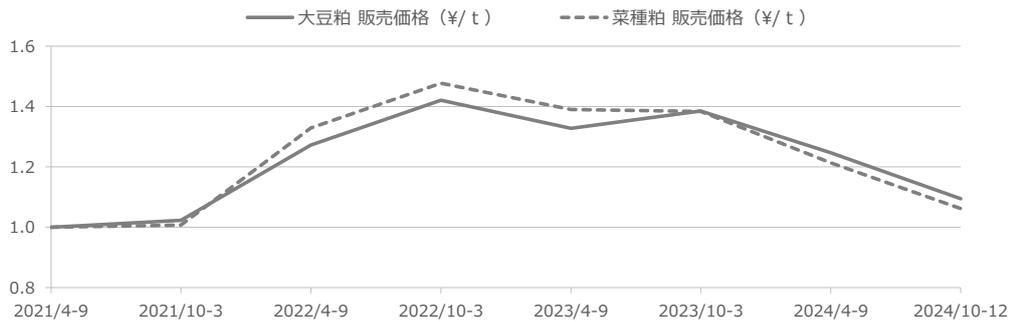


※2021年4-9期を1とした指数  
出典：日清オイリオグループ(株)の数値

■ 原料（大豆・菜種）



■ 油粕（大豆・菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）

